

ONCC 10期 ミュージアムへ行こう

第1回テーマ「なら歴史芸術文化村」

【事前学習】 2022年4月 7日 学芸員 岡見知紀氏による講義

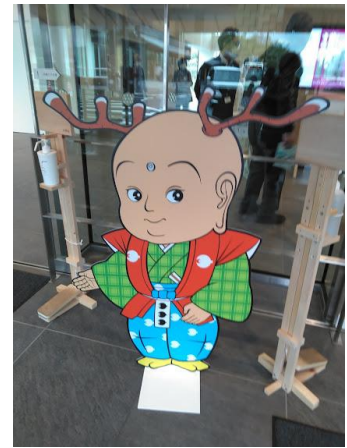
【観賞会】 2022年4月14日 なら歴史芸術文化村へ訪問（天理市）

参加者33名 CA2名 計35名



4月7日 岡見先生の講義

4月7日の岡見知紀先生の講義の後、4月14日「なら歴史芸術文化村」へ出かけました。降水確率80%で皆さん傘持参でしたが、岡見先生の出迎えを頂いたのと受講者の精進のためか雨に合わずに済みました。到着後昼食、其のあとそれぞれ自由見学となりました。



せんとくんがお迎え

今回の特別展のテーマは「やまのべの文化財」、未来に伝えるわたしたちの至宝。前週の講義でライブでの見どころを伺っていたので、しっかり見学できました。



正面に展示された、馬と人型埴輪では手に残る手綱の跡、家型の埴輪、木製仮面は写真ではわからない立体感、鼻の穴がしっかりわかる隆起とうっすらした眉毛がはっきり分かりました。また民間信仰の仏像は普段見えない後ろ姿が意外とざっくり作られていました。

大迫力の地獄絵には細かく様々な地獄模様が描かれ、善い人は三途の川も楽に渡れるとか悪女に騙されて傷だらけ血だらけになるという、現世に通じるちょっと笑える

地獄もありましたが、ずっと苦しみ続ける地獄に行かないように善い行いを心掛けたいと思いました。



地獄絵を間近で鑑賞



仏像製作の過程を展示



阿弥陀如来像の手（レプリカ）

常設展示では考古遺物、建造物、仏像等彫刻、絵画書跡修復工房があり、ガラス越しに修復の様子を見ることができました。修復の様子を見せることで次の担い手を育てる意味があるそうです。日本の様々な技術、工芸が消えていこうとしているので、ぜひ若者に見学に来てほしいと思いました。

にぎわい棟では農産物直売所、伝統工芸展示販売がありました。タケノコがお安く販売されていましたが、重さを考えて諦めました。

岡見先生の講義で興味をそそられ、見どころも教えていただいたので、楽しむことができました。CAの岸本さん、広瀬さん、準備引率ありがとうございました。

